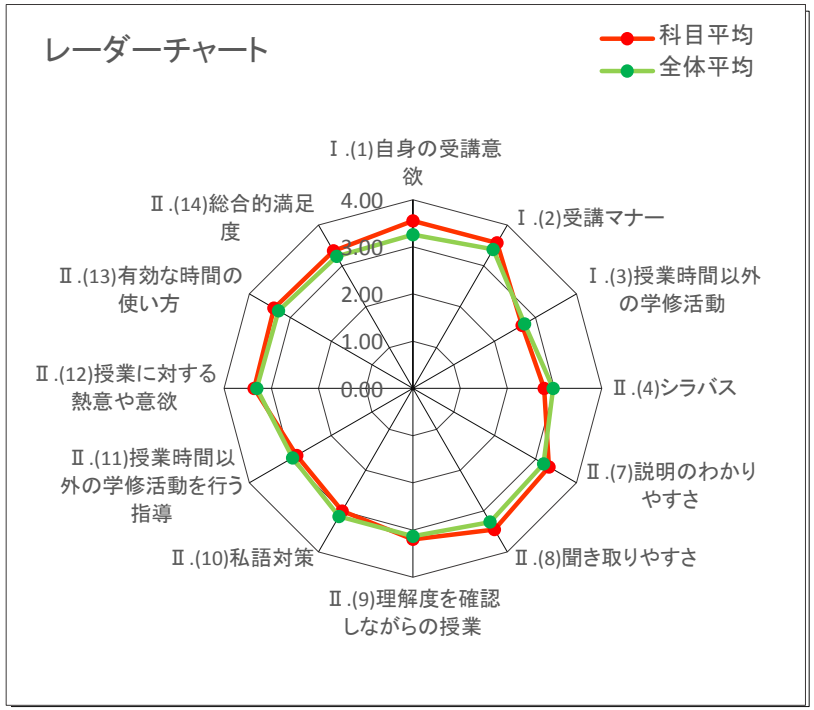
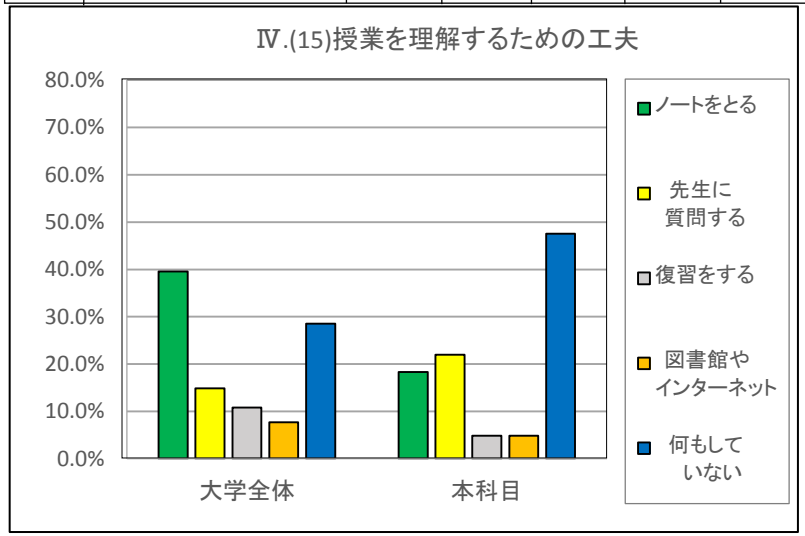
講義科目　授業アンケート結果



	設問No.	科目平均	全体平均
自身の受講姿勢	Ⅰ.(1)	3.55	3.26
	Ⅰ.(2)	3.56	3.40
	Ⅰ.(3)	2.67	2.73
講義内容・方法	Ⅱ.(4)	2.78	2.97
	Ⅱ.(5)		
	Ⅱ.(6)		
	Ⅱ.(7)	3.33	3.20
	Ⅱ.(8)	3.45	3.27
	Ⅱ.(9)	3.20	3.13
	Ⅱ.(10)	3.00	3.13
	Ⅱ.(11)	2.84	2.94
	Ⅱ.(12)	3.37	3.31
	Ⅱ.(13)	3.40	3.29
満足度	Ⅱ.(14)	3.37	3.23

※レーダーチャートの平均は4段階評価　4(そう思う)、3(ややそう思う)、2,（あまりそう思わない）、1（そう思わない）

〈※複数選択可項目〉		ノートをとる	先生に質問する	復習をする	図書館やインターネット	何もしていない
Ⅳ.(15)	授業を理解するための工夫	18.3%	22.0%	4.9%	4.9%	47.6%



	本科目平均	全体平均
自身の受講姿勢 Ⅰ.(1)～(3)	3.26	3.13
講義内容・方法 Ⅱ.(4)～(13)	3.17	3.15
総合的満足度 Ⅲ.(14)	3.37	3.23

アンケート結果に対する教員のフィードバックシート

授業年度	2014年度　前期
時間割番号	41101
科目名	キャリアデザインⅠ
教員名	

①授業計画の達成度について

授業計画では、防火講話や理事長先生のご講話を取り入れることができ、授業内容の修正を若干行った。授業計画の到達目標では、①スピーチ活動を通して、自己表現力を磨く、②現在の社会情勢について学んだことを活用し、自分なりのライフプラン・キャリアプランを構想するを掲げた。到達目標を達成するために、授業内容を①自分を知る、②社会を知る、③人生設計の3つのユニットに分けて構築し、ユニットが始まる事に学生にも解説をしたため、理解は深まったと考えている。

②授業の進め方について

授業開始後には、本時のテーマと目標をパワーポイントで示し、90分の授業の流れも伝えた。そうすることで、「何を」「どのような流れで」学ぶのかを把握することができ、学習意欲の向上にもつながったと考えられる。
時間を考慮して活動を行なうことで、時間内に提出物を仕上げることができたり、ペアワークなどの演習にもけじめを持っていきいきと取り組めたと思われる。

③アンケート全体を通しての自己評価、及び、今後の授業改善計画について

「3.授業時間以外の学修活動を行なっていた」と「11.授業時間以外の学修活動を行なうよう指導をしていた」の双方とも、全体平均よりも低く、これについては、「もっと学びたいと学生が言っているのだ」と受け止めた。そのため今後は、授業時間以外の学修活動ができるよう、書籍購読やレポート課題等も増やしたい。学生の受講態度や受講マナーは非常に良く、高く評価をしている。

奈良学園大学